

福岡県泌尿器科医会 教育講演

排尿障害に関する
ガイドライン

東京大学 本間之夫

2011年3月19日

下部尿路障害に関連するGL

- EBMに基づく前立腺肥大症診療GL
- EBMに基づく尿失禁診療GL
- 過活動膀胱診療GL
- 慢性期脊髄損傷における排尿障害の診療GL
- 二分脊椎症に伴う下部尿路機能障害の診療GL
- 間質性膀胱炎診療GL
- 夜間頻尿診療GL
- 男性下部尿路症状診療GL

男性下部尿路症状診療ガイドライン

Clinical Guideline for Male Lower Urinary Tract Symptoms

対象患者

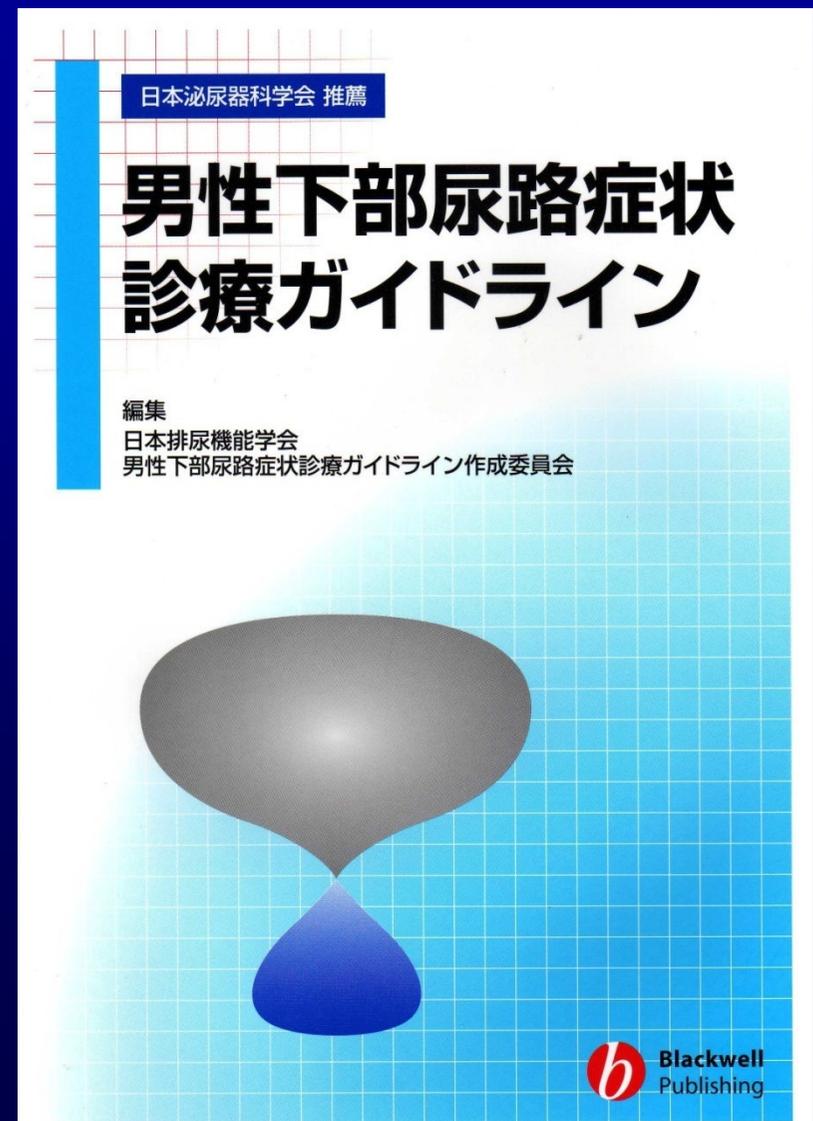
- 下部尿路症状を訴える中高齢男性(50歳以上)
- 若齢男性、要介護高齢者は除外
- 夜間頻尿が主体は別途考慮

利用者

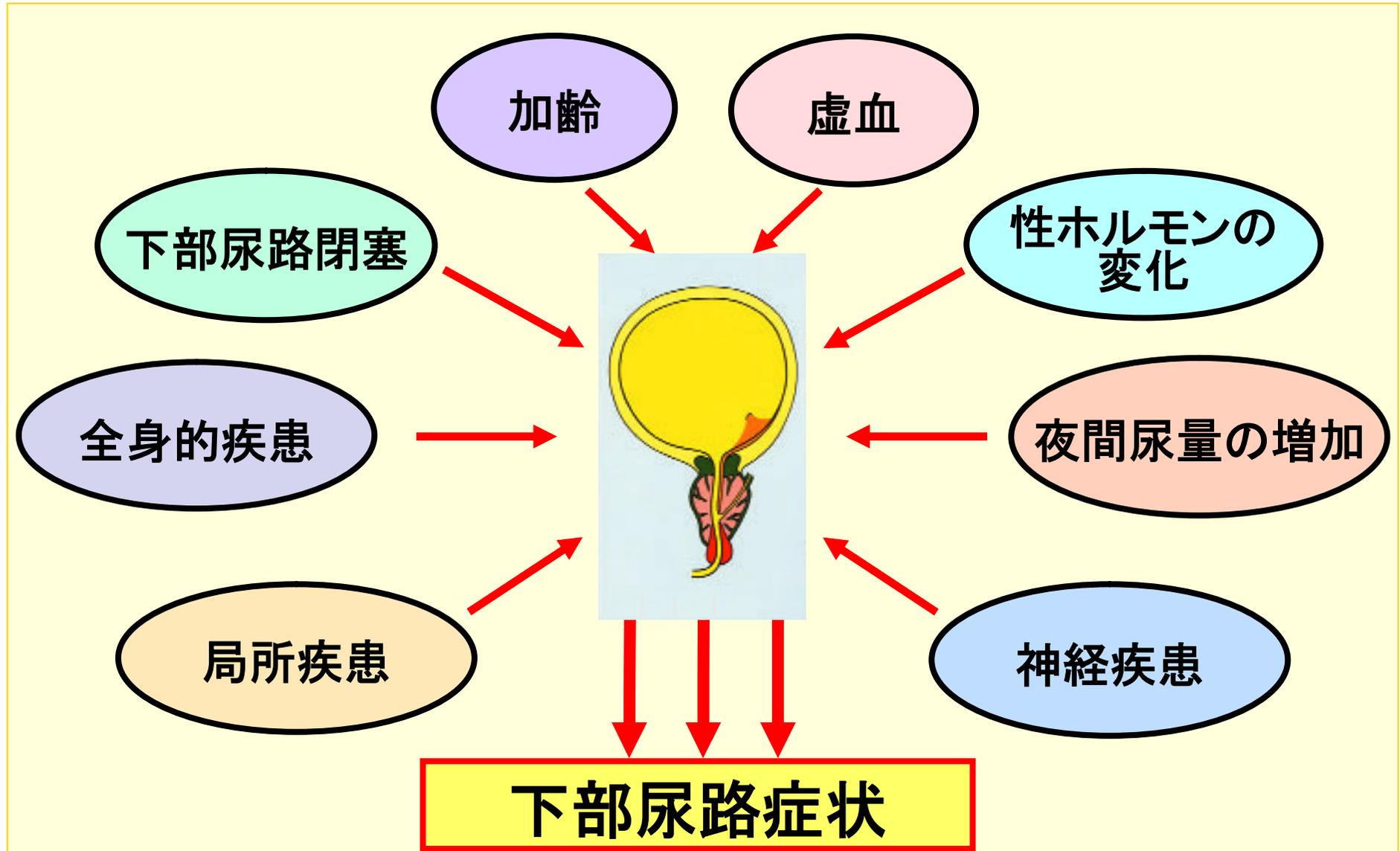
- 泌尿器科医師・他科の医師・薬剤師・看護師
- 本文の記述は専門医レベル
- アルゴリズムと治療は非専門医向け

男性下部尿路症状診療GL 目次

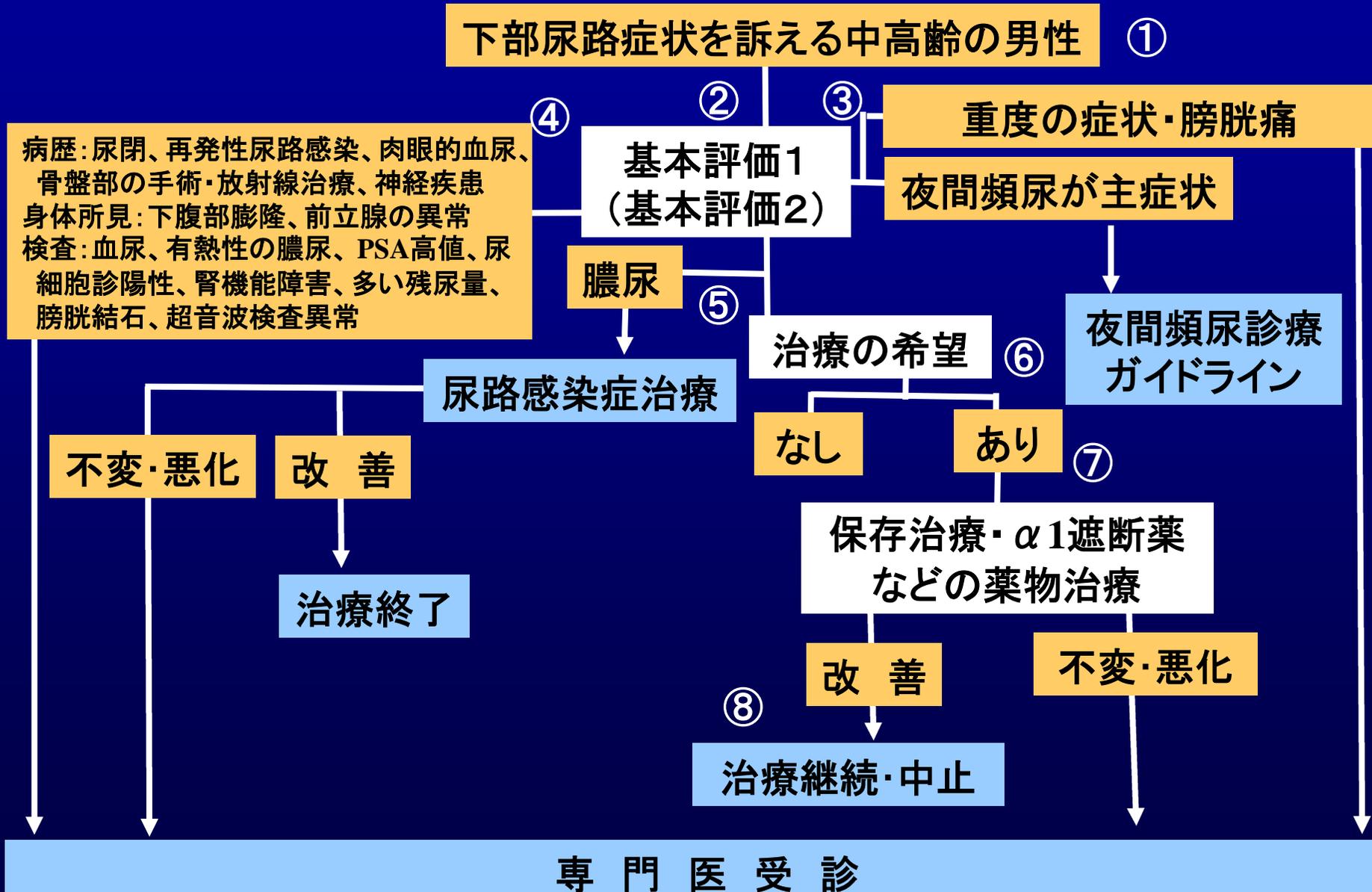
- 1.はじめに
- 2.下部尿路症状とは
- 3.疫学・QOL
- 4.病態と疾患
- 5.診断
- 6.治療
- 7.アルゴリズム



男性下部尿路症状の病因



男性下部尿路症状 診療のアルゴリズム



男性下部尿路症状 診療のアルゴリズム

基本評価1

症状と病歴の聴取、身体所見、尿検査、PSA

基本評価2

症状・QOL質問票、排尿記録、残尿測定、
尿細胞診、尿培養、クレアチニン、超音波検査

男性下部尿路症状 診療のアルゴリズム

病歴：尿閉、再発性尿路感染、肉眼的血尿、骨盤部の手術・放射線治療、神経疾患

身体所見：下腹部膨隆、前立腺の異常

検査：血尿、有熱性の膿尿、PSA高値、尿細胞診陽性、腎機能障害、多い残尿量、膀胱結石、超音波検査異常

下部尿路症状に関する症状質問票

CLSS

排尿時の症状

頻尿
尿意切迫感

尿失禁
痛み

IPSS

OABSS

ICI
Q

CP
IC

新ガイドラインの特徴



新BPH-GL

- 利用者＝泌尿器科専門医
- 10年ぶりの改訂
- 1995年～2009年の論文に基づいた記述
- 既存のGL、AUA-GL、EAU-GL、ICUDも参考
- 論文・根拠レベル、推奨グレードを付記
- Clinical Questionを追加
- 新治療を記載：レーザー、5ARI、併用

日本の泌尿器科学の100年

1912年(明治45年4月)

日本泌尿器病學會 創立

第1回日本泌尿器病學會總會 開催

1962年(昭和37年4月)

日本泌尿器科学会創立50周年記念式典

第50回日本泌尿器科学会総会 開催

2012年(平成24年4月)

日本泌尿器科学会創立100周年記念式典

第100回日本泌尿器科学会総会



第100回日本泌尿器科学会総会

「新百年への扉—新たな日本泌尿器科学会」

Gateway to the new centenary

- a renewed JUA

百年が終わり新百年が始まる
扉の向こうには新しい未来

新百年にはJUAも刷新が必要

